

我らが誇り♪

高浜中だより

学校教育目標

自立(自律) 協働 感謝

第11号

2021年11月22日発行

発行:校長 三浦孝一

<https://www1.fujisawa-kng.ed.jp/jtakh/>

藤沢市中学校新人大会・藤沢市中学校駅伝競走大会

10月から段階的に活動再開となった部活動ですが、10月9日に市内駅伝、10月23日から新人戦が開催されました。9月一ヶ月間練習ができなかった中、様々な心配がありましたが、それらを乗り越えた見事な試合内容だったと感じています。どの部も結果とは別に、自分たちの長所短所、課題等が確認できたことと思います。是非それらを仲間や顧問の先生と共有しながら、来年を目指してこれからの練習に活かして欲しいと願っています。



陸上部

市内駅伝大会 男子9位 ①T・Kさん②T・Sさん③U・Sさん④W・Rさん

⑤I・Wさん*区間賞⑥N・Yさん*区間賞

女子7位 ①H・Tさん②M・Sさん③Y・Sさん④H・Yさん⑥U・Aさん

新人戦 女子100mH H・Aさん 5位18.83秒 女子砲丸投げ H・Yさん 4位7m49cm

女子4×100mR M・Yさん M・Nさん H・Yさん H・Aさん 6位55.75秒

男子400m T・Kさん 準優勝56.69秒 男子110mH U・Sさん 3位18.65秒

男子800m T・Sさん 4位2分20秒20 男子走高跳 Y・Sさん 4位1m40cm

男子走幅跳 W・Rさん 5位5m21cm

男子4×100mR W・Rさん U・Sさん T・Kさん Y・Sさん 4位49.57秒

サッカー部 市内 対湘洋戦惜敗

女子テニス部 市内 団体戦3位 M・MさんN・NさんT・SさんK・Nさん

W・MさんN・YさんT・SさんM・Kさん

個人戦 M・N組ベスト16 T・K組ベスト16 A・Y組ベスト32

湘南 団体戦ベスト8

個人戦 M・N組ベスト32 T・K組、A・Y組 初戦惜敗

男子テニス部 市内 団体戦 対六会戦 惜敗

個人戦 T・K&S・K組ベスト32

バレーボール部 湘南 1 回戦 対玉縄戦勝利 2 回戦 対松浪戦勝利 3 回戦 対寒川東戦惜敗
湘南地区バスト 1 6

男子バスケット部 市内 5 位決定戦 対大清水戦惜敗
湘南 1 回戦 対西浜戦 9 2 - 2 8 勝利
2 回戦 対慶応戦 9 0 - 2 8 勝利
3 回戦 対浜須賀中 6 5 - 1 8 勝利
決勝戦 対鶴嶺中 4 0 - 3 9 勝利 *** 県大会出場**

女子バスケット部 湘南 1 回戦 対慶応戦 惜敗

野球部 市内 1 回戦 対善行戦 8 - 7 勝利 2 回戦 対日藤戦 3 - 1 勝利
3 回戦 対慶応戦 8 - 4 惜敗 市内ベスト 4

卓球部 市内 A・Eさん 6 位 N・Kさん、O・Rさん ベスト 1 6
湘南 N・Kさん ベスト 1 6 O・Rさん 3 回戦惜敗 A・Eさん 初戦惜敗

個人参加 (バドミントン) I・Yさん シングルス市内 3 位 湘南ブロック大会出場



第52回藤沢市総合かがく展

11月20日から28日まで藤沢市教育文化センターで第52回藤沢市総合かがく展が開催されています。本校からは3年生7名、2年生4名、1年生4名、総勢15名の皆さんの作品が出品されました。身近なものから感じる「なぜ？」という疑問とその着眼点、皆さんの柔らかな感性、仮説を立てて検証していく過程での工夫やこだわり、大きな可能性を感じました。



防災学習「地震・津波について」

11月4日(木)6校時の総合的な学習で、全校一斉の防災学習を行いました。今回は各学級でハザードマップ等の資料を見ながら、学校が休みだったとき、とくに自宅に一人で行った場合を想定して、避難する場所や避難ルートを考える学習を行いました。地震と津波から身を守る方法・避難場所・避難ルートは一人ひとり異なり、かなり考えて込んでいる姿が多く見られました。また幼い兄弟姉妹やお年寄りをご家族にいらっしゃる場合は、お勤めされているご家族が帰宅されるまで、中学生の皆さんがご家族を守らなければならない、そんな状況も想定されます。是非、ご家庭でも話題に取り上げていただき、万が一の場合に備えていただければと思います。



11月公開授業週間

市の指定研究2年目になる本校では、今年度7月・11月・1月に研究授業期間を設定し、研究テーマ「学びを豊かにする生徒の育成～できる 使える 役に立つ～」のもと、校内研究を進めています。研究を進めるにあたって、元玉川大学の林紋子先生に昨年度から引き続き、ご指導ご助言をいただいています。11月は1日・2日・4日に、6教科11人の先生の研究授業と研究討議を行いました。

生徒の皆さんにとって、できる・使える・役に立つとは、どういうことなのか、教科ごとに絞り深めていく段階に入ってきました。

I C Tの活用も取り入れながら、豊かな学びを模索し続けてまいります。

